

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】令和 2 年 7 月 2 日 (2020.7.2)

【公開番号】特開 2019-198750 (P2019-198750A)
 【公開日】令和 1 年 11 月 21 日 (2019.11.21)
 【年通号数】公開・登録公報 2019-047
 【出願番号】特願 2019-159298 (P2019-159298)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 4 月 22 日 (2020.4.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

始動口への遊技球の入球に基づいて当落を判定し、特別図柄の変動表示を開始させ、所定の変動時間が経過すると前記特別図柄の変動表示を停止させて前記当落を提示する遊技制御手段と、

前記遊技制御手段からのコマンドにより、所定の演出表示装置にて前記当落に応じた変動演出動画を表示する変動演出表示手段と、を備え、

前記変動演出表示手段は、

前記演出表示装置に対して前記変動演出動画を表示する際に生成した描画データのうちの一部の描画データをその後の前記変動演出動画を表示する際に再利用し、前記その後の前記変動演出動画において、前記一部の描画データに基づく特定の素材画像を背景又は前景として複数配置させた表示態様の前記変動演出動画を前記演出表示装置に表示させる

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

そこで、本発明は、互いに表示態様が類似する映像を表示させる際に効率良く描画処理を実施することを目的とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

上述した目的を達成するため、本発明は、始動口への遊技球の入球に基づいて当落を判定し、特別図柄の変動表示を開始させ、所定の変動時間が経過すると前記特別図柄の変動表示を停止させて前記当落を提示する遊技制御手段と、

前記遊技制御手段からのコマンドにより、所定の演出表示装置にて前記当落に応じた変動演出動画を表示する変動演出表示手段と、を備え、

前記変動演出表示手段は、

前記演出表示装置に対して前記変動演出動画を表示する際に生成した描画データのうち一部の描画データをその後の前記変動演出動画を表示する際に再利用し、前記その後の前記変動演出動画において、前記一部の描画データに基づく特定の素材画像を背景又は前景として複数配置させた表示態様の前記変動演出動画を前記演出表示装置に表示させることを特徴とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明に係る遊技機によれば、互いに表示態様が類似する映像を表示させる際に効率良く描画処理を実施することができる。